

| | | | |
|--|---|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/27 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003043 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー (薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) | 薬学部1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | takahasi nagasaki-u.ac.jp (PC) または shabshab i.softbank.jp (携帯) (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | | | |
| 担当教員TEL/Tel | 090-1343-1361 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | <ol style="list-style-type: none"> 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォローシップを發揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 毎回の積極的な授業への出席を前提に、各回に与えられたテーマ・課題等への取り組み, グループでまとめた研究テーマの発表およびレポート提出, 初年次セミナー振り返りについての提出されたレポートで評価します (100%)。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 各回の授業で提示された課題について調査, レポートを提出してもらいます。最終的にグループで決めた主題 (テーマ) についてまとめたレポートを提出するにあたって, 各メンバーが分担しているサブテーマの調査・研究の進捗状況を毎回報告してもらいます。中間報告会, 最終発表会でのプレゼンテーションを行います。毎回の事前・事後学習が必要です。(4h以上) | | |
| キーワード/Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布します。 | | |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites | | | |

| | |
|--|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第 1 回 | 1) 他己紹介（学生 2 人のペアとし、自己紹介票を交換して 2 人で照会内容や追加したい事項を確認する。確認終了後、壇上で相互の紹介を自己紹介票なしで相手を紹介する。自己紹介より学生間での親しみが増す） 2) 初年次セミナーの目的、目標・趣旨および授業内容の解説 3) 今後のスケジュール 課題）セルフディベートのテーマを考え、調査・研究 |
| 第 2 回 | 1) セルフディベートのプレゼンテーション（各自のテーマを板書させ、それぞれ 5 分程度で説明させる。内容について質疑応答をさせる） 2) グループ単位による研究レポートのついて説明（グループサイズ、サブテーマの設定、調査方法や目標など） 課題）各学生が研究テーマを考えてくる（タイトル、サブテーマと分担者数、調査方法、目的など）。用紙を配布、次々週までに報告 |
| 第 3 回 | 1) 図書館資料収集ガイダンス受講 課題）ガイダンス受講の記録、グループテーマの調査（継続） |
| 第 4 回 | 1) グループテーマのプレゼンテーション（順番に各自のテーマを板書させ、それぞれ 5 分程度で説明させる。全部の発表内容について質疑応答をさせる） 2) 数名のグループに分かれ、グループ内での発表テーマについて討論させ、その記録を報告させる） 課題）討論を通じて、各自が提案したテーマについて遂行の可能性を詳細に検討し、次週までに報告 |
| 第 5 回 | 1) 報告された内容のプレゼンテーション（順番に各自のテーマを板書させ、それぞれ 5 分程度で説明させる。全部の発表内容について質疑応答をさせる） 2) メンバーを変えたグループで、グループ内での発表テーマについて討論、その記録を報告） 課題）グループ数の検討、採り上げたいテーマを選択 |
| 第 6 回 | 1) 採り上げたいテーマやグループ数を投票で決定 2) 各グループの構成メンバーを希望にしたがって決定（調整する場合もある） 3) 各グループは、表題の推敲、サブテーマと分担者を決定 課題）各メンバーは担当サブテーマについて調査、資料収集に着手。進捗状況を報告 |
| 第 7 回 | 1) グループ毎に分かれ、各自の進捗状況をグループ内で共有 2) 各グループは、進捗状況と討論した結果を教員に報告、質疑応答するとともに、今後の調査課題を提案 課題）各グループメンバーは提案した課題を調査し、その結果を報告 |
| 第 8 回 | 1) グループ毎に分かれ、各自の進捗状況をグループ内で共有 2) 各グループは、進捗状況と討論した結果を教員に報告、質疑応答するとともに、今後の調査課題を提案 課題）各グループメンバーは提案した課題を調査し、その結果を報告 |
| 第 9 回 | 1) 各グループはテーマを構成する緒言、方法、調査結果、考察について擦り合わせを行い、論文作成に着手 2) グループ間でプレゼンテーションを行い、意見交換 課題）グループメンバーは各自の調査資料からパワーポイント発表用資料作成を開始 課題）各グループメンバーは提案した課題を調査し、その結果を報告 |

| | |
|------|--|
| 第10回 | <p>1) 引き続き、各グループはテーマを構成する緒言，方法，調査結果，考察について擦り合わせを行い，論文作成を進展</p> <p>2) グループ別に論文作成の進捗状況の報告</p> <p>課題) 引き続き，グループメンバーは各自の調査資料からパワーポイント発表用資料を作成</p> <p>課題) 各グループメンバーは論文作成を進展</p> |
| 第11回 | <p>1) 引き続き，各グループはテーマを構成する緒言，方法，調査結果，考察について擦り合わせを行い，論文作成を進展</p> <p>2) グループ別に論文作成・パワーポイント発表の進捗状況の報告</p> <p>課題) 引き続き，グループメンバーは各自の調査資料からパワーポイント発表用資料を作成</p> <p>課題) 各グループメンバーは論文作成を進展</p> |
| 第12回 | <p>1) パワーポイントによる中間報告会</p> <p>2) 発表内容について，質疑応答をおこなう。改善点の指摘</p> <p>課題) 引き続き，グループメンバーは各自の調査資料からパワーポイント発表用資料を作成</p> |
| 第13回 | <p>1) 引き続き，各グループはテーマを構成する緒言，方法，調査結果，考察について擦り合わせを行い，論文作成を進展</p> <p>2) グループ別に論文作成・パワーポイント中間報告指摘後の進捗状況の報告</p> <p>課題) 引き続き，グループメンバーは各自の調査資料からパワーポイント発表用資料を作成</p> |
| 第14回 | <p>1) 引き続き，各グループはテーマを構成する緒言，方法，調査結果，考察について擦り合わせを行い，論文作成を進展</p> <p>2) グループ別に論文作成・パワーポイント最終発表のための進捗状況の報告</p> <p>課題) 引き続き，グループメンバーは各自の調査資料からパワーポイント発表用資料を作成</p> |
| 第15回 | <p>1) パワーポイントによる最終発表会</p> <p>2) 論文提出要領・個人レポート提出要領の告知</p> |

| | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/26 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003044 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 金子 雅幸 / Kaneko Masayuki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 金子 雅幸 / Kaneko Masayuki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 金子 雅幸 / Kaneko Masayuki | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) | 薬学科・薬科学科 1年次生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | m-kaneko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | 薬学部4階 創薬薬理学研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2421 (内線2421) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月-金 9:00-17:00 (ただし、メールにて予定確認後) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォローシップを發揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 授業への取り組み(50点) + プレゼンテーション課題(30点) + レポート(20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 授業の準備のための学修時間として毎回1時間(計15時間)。 | | |
| キーワード/Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites | 特になし | | |

| | |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい） |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 長崎大学薬学部の歴史について理解を深めながら、グループ学習や先輩からの指導によってコミュニケーション力を養成しましょう。大学生活の基礎をこの演習で身に付けてください。 |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 (4/12) | 自己紹介・研究室紹介 講義等受講の注意点、LACSとポートフォリオ等の説明、プレゼンテーションの方法 |
| 第2回 (4/19) | 薬学部の歴史：フィールドワーク |
| 第3回 (4/26) | 薬学部の歴史：発表テーマ決定 資料収集ガイダンス（中央図書館）：オンディマンド学習 |
| 第4回 (5/10) | 薬学部の歴史：ディスカッション・プレゼンテーション準備 |
| 第5回 (5/17) | 薬学部の歴史：ディスカッション・プレゼンテーション準備 |
| 第6回 (5/24) | 薬学部の歴史：発表・討論会 |
| 第7回 (5/31) | 課題（薬学・医療関連）：テーマ決定・ディスカッション |
| 第8回 (6/7) | 課題（薬学・医療関連）：ディスカッション・プレゼンテーション準備 |
| 第9回 (6/14) | 課題（薬学・医療関連）：ディスカッション・プレゼンテーション準備 |
| 第10回 (6/21) | 課題（薬学・医療関連）：発表・討論会 |
| 第11回 (6/28) | 課題（研究関連）：テーマ決定・ディスカッション |
| 第12回 (7/5) | 課題（研究関連）：ディスカッション・プレゼンテーション準備 |
| 第13回 (7/12) | 課題（研究関連）：ディスカッション・プレゼンテーション準備 |
| 第14回 (7/19) | 課題（研究関連）：発表・討論会 |
| 第15回 (7/26) | 総括・レポート作成 |

| | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/26 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003045 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 都田 真奈 / Mana Miyakoda | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 都田 真奈 / Mana Miyakoda | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 都田 真奈 / Mana Miyakoda | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) | 薬学部1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | mana-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室 / Office | 臨床研究薬学 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2456 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 平日10:00-17:00 (メールで要予約: mana-t nagasaki-u.ac.jp) | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Course goals | 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation | プレゼンテーション課題(60点)+レポート(30点)+授業への取組み(10点)=100点。60点上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容 / Preparation & Review | 事前学習: テーマに関する資料を収集し理解する(2h) 事後学習: グループディスカッションの内容をまとめ、今後の課題を整理する(2h) | | |
| キーワード / Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Materials | 特になし | | |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites | | | |

| | |
|--|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション、アイスブレイク |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス（変更の可能性あり） |
| 第3回 | テーマの決定、グループディスカッション |
| 第4回 | グループディスカッション |
| 第5回 | グループディスカッション、発表資料の作成 |
| 第6回 | 発表会 |
| 第7回 | テーマの決定、グループディスカッション |
| 第8回 | グループディスカッション |
| 第9回 | グループディスカッション、発表資料の作成 |
| 第10回 | 発表会 |
| 第11回 | テーマの決定、グループディスカッション |
| 第12回 | グループディスカッション |
| 第13回 | グループディスカッション、発表資料の作成 |
| 第14回 | 発表会 |
| 第15回 | レポート作成および提出 |

| | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/26 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003046 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 鳥羽 陽 / Toriba Akira | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 鳥羽 陽 / Toriba Akira | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 鳥羽 陽 / Toriba Akira | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) | 薬学部1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 鳥羽 陽 toriba nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | 薬学部5階 衛生化学研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2441(鳥羽) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜 15:00 ~ 16:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | <ol style="list-style-type: none"> 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォローシップを發揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | <ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 到達目標に向けた学生の課題への取り組みとグループ討議での積極的な取り組み状況(50%)、およびプレゼンテーションと質疑応答での技能と態度(50%)により評価する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 事前学習: 翌週で扱うテーマを提示するのでそれについてインターネットなどを使って情報収集を行う。また、プレゼンテーション資料の作成や発表に関する技能の向上を図る。(2h) 事後学習: ディスカッションなどで生じた課題や疑問点について整理・解決しプレゼンテーション資料作成に反映させる。また、講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習をする。(2h) | | |
| キーワード/Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 必要に応じてLACSを介してデジタルファイルとして、あるいは印刷物として配布する。 | | |

| | |
|--|--|
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4/12 | オリエンテーション、アイスブレイク |
| 第2回 4/19 | 資料収集ガイダンス（変更の可能性あり） |
| 第3回 4/26 | テーマ（1）の決定、グループディスカッション |
| 第4回 5/10 | グループディスカッション |
| 第5回 5/17 | グループディスカッション、プレゼンテーション資料の作成 |
| 第6回 5/24 | プレゼンテーション、質疑応答、全体討論 |
| 第7回 5/31 | テーマ（2）の決定、グループディスカッション |
| 第8回 6/7 | グループディスカッション |
| 第9回 6/14 | グループディスカッション、プレゼンテーション資料の作成 |
| 第10回 6/21 | プレゼンテーション、質疑応答、全体討論 |
| 第11回 6/28 | テーマ（3）の決定、グループディスカッション |
| 第12回 7/5 | グループディスカッション |
| 第13回 7/12 | グループディスカッション、プレゼンテーション資料の作成 |
| 第14回 7/19 | プレゼンテーション、質疑応答、全体討論 |
| 第15回 7/26 | レポート作成および提出 |

| | | | |
|---|--|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/27 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003047 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) | 薬学科・薬科学科の1年次 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | ktsuka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室 / Office | 医歯薬学総合教育研究7F・薬物治療学 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-8573 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月-金 9:00-17:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Course goals | 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation | 成績評価：個人評価として各回での取り組み方・討議への積極的参加4点×15回、グループ評価としてプレゼンテーション10点×2回と最終報告書のレポート20点の合計点が60点以上を合格とする。授業到達目標(1-5)ができるようになったかどうかは上記評価項目で評価する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前・事後学習の内容 / Preparation & Review | 事前と事後にそれぞれ2時間以上、課題、報告、発表やレポート提出に向けて準備すること。 | | |
| キーワード / Keywords | 薬学の歴史, プラネタリーヘルス, SDGs, マインドマップ, KJ法 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Materials | なし | | |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites | なし | | |

| | |
|--|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 何事も積極的に取り組むこと。 |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4/13 | 自己紹介，教養セミナーの趣旨と計画の説明，様々な思考法 |
| 第2回 4/20 | 長崎大学薬学部の歴史についてマインドマップで調査項目を絞る |
| 第3回 4/27 | 長崎大学薬学部の歴史について調査する |
| 第4回 5/11 | 図書館資料収集ガイダンス（2回 - 5回のいずれかで受講） |
| 第5回 5/18 | 長崎大学薬学部の歴史について調査する |
| 第6回 5/25 | 長崎大学薬学部の歴史についてまとめてプレゼンテーションの準備をする |
| 第7回 6/1 | グループ別プレゼンテーションと全体討論 |
| 第8回 6/8 | プラネタリーヘルス・SDGsについてKJ法を調査項目を絞る |
| 第9回 6/15 | プラネタリーヘルス・SDGsについて意見交換を継続する |
| 第10回 6/22 | プラネタリーヘルス・SDGsについて調査する |
| 第11回 6/29 | プラネタリーヘルス・SDGsについて調査する |
| 第12回 7/6 | プラネタリーヘルス・SDGsについてまとめてプレゼンテーションの準備をする |
| 第13回 7/13 | グループ別プレゼンテーションと全体討論 |
| 第14回 7/20 | レポートの作成上の注意点の説明と作成を始める |
| 第15回 7/27 | Wordを使って最終報告書（レポート）を作成して提出する |

| | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/27 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003048 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 中嶋 幹郎 / Nakashima Mikirou | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 中嶋 幹郎 / Nakashima Mikirou | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 中嶋 幹郎 / Nakashima Mikirou | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) | 薬学科・薬科学科 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | mikirou nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | 実践薬学研究室(坂本キャンパス: 医歯薬学総合教育研究棟7階) | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-8570 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 平日10:00-17:00 ただし事前にメール(mikirou nagasaki-u.ac.jp)で予約を取ること(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | プレゼンテーション課題(20点)+レポート課題(50点)+授業への取組み(30点)=100点。60点以上を合格とする。 プレゼンテーション課題では、発表内容が十分に調査されているか、調査内容を正しく理解し説明できたか、話が論理的に展開されているか、原稿に頼らずに話せているか、発表時間が守られているか、情報の信頼性は高いか等を評価する。レポート課題では、調査したテーマについて適切なキーワードを用いているか、論理的に記述しているか、提出期限内に提出されているか等を評価する。これらの評価には教養教育科目用のルーブリック表を活用する。授業への取組みでは、毎回の授業での積極的な発言や態度等を評価する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |

| | |
|--|---|
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 事前学習：調査研究テーマを明確にし、事前にそのテーマに関する資料を収集し理解する（2h） 事後学習：教員や他のメンバーからのフィードバックを参考にして、グループ内での調査報告と意見交換の内容をまとめ、今後の授業へ向けての課題を整理する（2h） |
| キーワード/Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 特になし |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 長崎大学薬学部へ入学した同級生同士の相互理解を深めながら、これから始まる大学での授業に向けて科学的思考・学修能力を高めましょう！ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 中嶋幹郎 / 長崎大学病院薬剤部での病院薬剤師としての臨床経験 / 病院薬剤師としての調剤、製剤、医薬品情報管理、薬剤管理指導などの臨床業務と多職種協働によるチーム医療の経験に基づき、医薬品適正使用と医療安全の確保について解説する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4/13 | オリエンテーション、自己紹介、学修ポートフォリオ、学修目標・方略・評価について |
| 第2回 4/20 | オリエンテーション、ルーブリック評価、小グループ討論（SGD）、プレゼンテーションについて、テーマ提示と課題分担 |
| 第3回 4/27 | 図書館資料収集ガイダンス（日程変更の可能性あり） |
| 第4回 5/11 | テーマ検討、グループ内での調査報告と意見交換、調べ方の基礎、テーマの決定 |
| 第5回 5/18 | テーマの取組開始、グループ内での調査報告と意見交換 |
| 第6回 5/25 | テーマの取組、グループ内での調査報告と意見交換、プレゼンテーションの準備 |
| 第7回 6/1 | テーマの取組、グループ内での調査報告と意見交換、プレゼンテーションの準備 |
| 第8回 6/8 | グループプレゼンテーション、全体討論、テーマの決定 |
| 第9回 6/15 | テーマの取組開始、グループ内での調査報告と意見交換 |
| 第10回 6/22 | テーマの取組開始、グループ内での調査報告と意見交換 |
| 第11回 6/29 | テーマの取組開始、グループ内での調査報告と意見交換、プレゼンテーションの準備 |
| 第12回 7/6 | テーマの取組開始、グループ内での調査報告と意見交換、プレゼンテーションの準備 |
| 第13回 7/13 | グループプレゼンテーション、全体討論 |
| 第14回 7/20 | レポート作成 |
| 第15回 7/27 | レポート提出、全体の振り返り |

| | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/27 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003049 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー (薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 上田 篤志 / Ueda Atsushi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course | 上田 篤志 / Ueda Atsushi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 上田 篤志 / Ueda Atsushi | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) | 薬学部1年 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 上田篤志 : aueda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | 薬学部本館3階薬化学研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 上田篤志 : 095-819-2425 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 火曜日 13:00 ~ 14:00 (事前にメールでの予約が望ましい) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | <ol style="list-style-type: none"> 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォローシップを発揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 到達目標に向けた課題への取り組みとグループディスカッションにおける積極的な取り組み(40%)、グループ・プレゼンテーションと質疑応答における技能・態度(40%)、およびレポート(20%)により評価する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | ディスカッション、プレゼンテーション、レポート提出に向けて準備を行うこと。(1h) | | |
| キーワード/Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 長崎大学薬学部 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html 下村脩名誉博士スペシャルコンテンツ http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/shimomura/index.html 長崎大学薬学部百年史/長崎大学薬学部 | | |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites | 特になし | | |

| | |
|--|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 医薬品や長崎の薬学に関して相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回(4/13) | 授業の進め方や学修についてのガイダンス |
| 第2回(4/20) | グループ内でのディスカッション（第2回から12回のどこかでフィールドワークを行う可能性あり） |
| 第3回(4/27) | 資料収集ガイダンス |
| 第4回(5/11) | グループ内でのディスカッション |
| 第5回(5/18) | グループ内でのディスカッション |
| 第6回(5/25) | グループ・プレゼンテーション、全体討論 |
| 第7回(6/1) | グループ内でのディスカッション |
| 第8回(6/8) | グループ内でのディスカッション |
| 第9回(6/15) | グループ内でのディスカッション |
| 第10回(6/22) | グループ・プレゼンテーション、全体討論 |
| 第11回(6/29) | グループ内でのディスカッション |
| 第12回(7/6) | グループ内でのディスカッション |
| 第13回(7/13) | グループ・プレゼンテーション、全体討論 |
| 第14回(7/20) | レポート作成 |
| 第15回(7/27) | レポート作成・提出 |

| | | | |
|---|--|---|-----------------------|
| 学期 / Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2021/04/08 ~ 2021/07/26 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20210581003050 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 向井 英史 / Mukai Hidefumi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 向井 英史 / Mukai Hidefumi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 向井 英史 / Mukai Hidefumi | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) | 薬学部1年 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | hmukai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室 / Office | 医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学教員室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-8564 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 13:00 ~ 17:00 (事前にE-mailで予約すること) | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course overview | 薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Course goals | <ol style="list-style-type: none"> 1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation | レポート(三分の一)、グループ学習(三分の一)、プレゼンテーション(三分の一) ルーブリックなどを用い、主体的・協同的な学習の観点から評価する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容 / Preparation & Review | 予習: トピックの内容を調べ、整理して、グループ学習やプレゼンテーションなどに臨む。(2時間) 復習: 教員からのフィードバックを受けて、レポートや発表スライドなどを修正する。(2時間) | | |
| キーワード / Keywords | 生命、健康、医療、医薬品、歴史 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Materials | 演習の進行に合わせ、必要があればその時指示する。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites | | | |

| | |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考 (URL) /Remarks (URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Y |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course | 向井英史 / 博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行なう実務経験 / 創薬研究者や医療従事者として必要な資料収集・レポート作成・グループワーク・プレゼンテーション能力の基礎を養う |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回: 4月12日16:50-18:20 | 導入講義、トピック1: 資料収集とレポート |
| 第2回: 4月19日16:10-17:40 (予定) | トピック1: グループ学習 |
| 第3回: 4月26日16:10-17:40 (予定) | トピック1: フィールドワーク |
| 第4回: 5月10日16:10-17:40 (予定) | トピック1: プレゼンテーション |
| 第5回: 5月17日16:10-17:40 (予定) | 資料収集ガイダンス、トピック2: 資料収集とレポート |
| 第6回: 5月24日16:10-17:40 (予定) | トピック2: 資料収集とレポート |
| 第7回: 5月31日16:10-17:40 (予定) | トピック2: グループ学習 |
| 第8回: 6月7日16:10-17:40 (予定) | トピック2: グループ学習 |
| 第9回: 6月14日16:10-17:40 (予定) | トピック2: プレゼンテーション |
| 第10回: 6月21日16:10-17:40 (予定) | トピック3: 資料収集とレポート |
| 第11回: 6月28日16:10-17:40 (予定) | トピック3: 資料収集とレポート |
| 第12回: 7月5日16:10-17:40 (予定) | トピック3: グループ学習 |
| 第13回: 7月12日16:10-17:40 (予定) | トピック3: グループ学習 |
| 第14回: 7月19日16:10-17:40 (予定) | トピック3: プレゼンテーション |
| 第15回: 7月26日16:10-17:40 (予定) | まとめの演習 |